

教育分野 (Education for All) の国際イ ニシアチブ

教育協力NGOネットワーク (JNNE)
(社) シャンティ国際ボランティア会 (SVA)
三宅隆史

教育の危機

- 子ども
 - 1億人の子どもが未修学、58%が女子
 - 1億5000万人の子どもが小学校を中途退学
 - アフリカでは4割強の子ども(4,000万人)が小学校を卒業していない。
- 大人
 - 8億人の成人が非識字者
 - 2/3は女性

ウガンダの6歳の少女

わたしは学校に行ったことがないの。ママはいっぱい働いているけど、わたしの教科書や制服を買うお金がないの。ママも子どもものころ、ちょっとしか学校に行けなかったんだって。

友だちのベティはとてもラッキー。だって学校に行けるんだもん。わたしはベティと「学校ごっこ」をして遊ぶの。ベティはお話を聞かせてくれたり習ったことを教えてくれるわ。

わたしは大きくなったらお店をやって、ジュースやケーキを売りたい。そのためには、学校に行って字を読んだり足し算を勉強しなきゃ。そしてもっといい暮らしをするの。

(ほっとけない世界の貧しさキャンペーン、ウェブ講座

<http://www.hottokenai.jp/poverty/06b.html>)

なぜ学校に行けないのか？

世帯(需要側)

女子や女性に対する差別

貧困

親の教育

児童労働

学校(供給側)

学費(71カ国)

障害を持つ子ども

教育の質、妥当性の欠如

教員の待遇、数(1,500万人~3,500万人必要)

社会・政治

HIV/AIDS

紛争

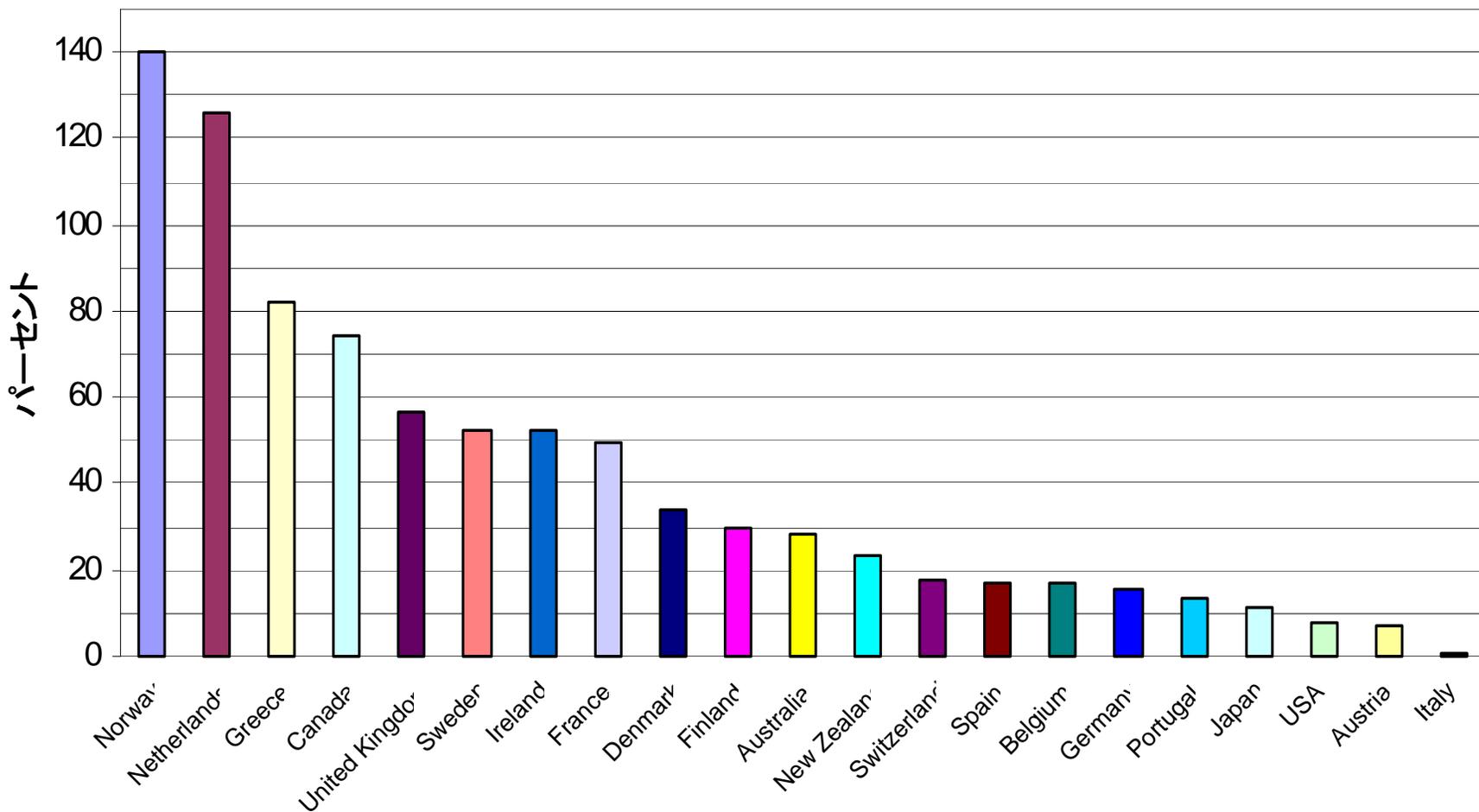
万人のための教育世界フォーラム、 ダカール行動枠組み（2000年）の6目標

- ① 就学前教育の拡大・改善
- ② 2015年までにすべての子どもの無償初等教育のアクセス確保（MDG）
- ③ ライフスキルを含む青年・成人の学習ニーズに対応する十分な対応
- ④ 2015年までに成人識字率の50%改善
- ⑤ 2005年までに初等中等教育における男女格差の解消、2015年までに教育における男女平等の達成（MDG）
- ⑥ 教育のあらゆる面における質の向上

目標は達成できるか？

- 目標5は、80カ国で達成できなかった。
- 目標2は、現状の傾向が続けば、世界人口の1／3の国々、47カ国で達成できない。
- グローバル・イニシアチブという考え：教育は権利であり、教育サービスは、地球公共財なので、世界規模の富の再分配によって保証する必要がある。

初等教育完全普及達成に必要な援助額に対する各国の公平な負担額に対する割合



出所 : Missing the Mark, 2005, Global Campaign for Education, 2005

どうすれば良いのか

途上国側

- 教育への投資
 - GNPの6%を教育予算に配分
- 良い計画
 - 「国家教育計画」(National Education Plan)の策定, 貧困削減計画(PRS)との整合性
- 良く使える
 - 教育行政能力強化、良き統治、援助受容能力

どうすれば良いのか？

援助国（先進国）側

- 基礎教育への援助額の増大
 - 56億ドル／年の援助が必要、世界の軍事費の3日分、ステイルス爆撃機1機分より少ない。現状は15億ドルで必要額の1／4
 - 「資源の不足によってEFA目標達成が妨げられてはならない」(ダカール行動枠組み)
 - 基礎教育のための債務救済
- 援助の様式 (Modality) の改善
 - 途上国のオーナーシップの重視
 - 手続き費用の削減。e.g. ガーナは年間54回もドナーミッション。
 - プロジェクト支援からプログラム、セクター支援へ。

ファストトラックイニシアチブ (FTI)

- 2015年までの初等教育完全普及を進展させるための途上国とドナー間のグローバルなパートナーシップ。
- すべての低所得国が対象となりうる。
- 2002年の世界銀行・IMF合同開発委員会で採択。←G8, EFA閣僚級会合が支持。
- 国レベルの意思決定。制度についてFTI運営委員会、パートナーシップ会合が世界レベルで。
- 世銀が事務局。

グローバル・イニシアチブの具体化

Fast Track Initiative

- 選択性(Selectivity)
 - EFA達成のための良い計画と実施能力を持つ国が対象
- 支援の持続性(Predictability)
 - EFA達成に必要な資金ギャップが援助で満たされる。
- 国レベルでの運用(Country lead)
 - 国際基金ではなく、国レベルでの合意形成、運用、実施、管理。
- 援助様式の多様性(Modality)
 - プロジェクト支援、プログラム支援、セクター支援、経常経費支援

FTIの仕組み

途上国

- 教育セクター開発計画を幅広い協議プロセスを経て作成
- 成果重視の実施
- 実施、調整面でのリーダーシップ



相互の
責任

ドナー

- 援助額の増大、予測可能性の改善
- 途上国の開発計画との整合性、援助調整
- 援助プロセスの調和化（資金供与、モニタリング、報告）

FTIの支援

FTI対象国

- 国レベルでの資源動員
- 資金不足の国(ドナー孤児国)に対しては触媒基金(Catalytic Fund)、例:ニカラグア、ガンビア、イエメン、ギニア

FTI対象国となっていない低所得国

- 教育計画開発基金(EPDF)、例:アフガニスタン、バングラデシュ、パキスタン

プロセス

1. 貧困削減計画、教育セクター開発計画（FTI計画や初等教育サブセクター計画ではなく）の策定
2. 現地のドナー機関が審査ガイドラインにしたがってアセスメント→対象国をエンドース
3. FTI事務局に連絡→資金不足額の支援を全ドナーに要請
4. 資源動員：すでに現地にいるドナーが支援増額、他のドナーが新たに支援→資金不足解消（のはず）

良い教育セクター開発計画とは

- 予算を含む初等教育完全普及のための戦略
- HIV/AIDS、ジェンダー平等、質、公平性、効率性、予算の持続性確保のための戦略
- 実施能力の制約とその対応
- 達成度の指標とモニタリングシステム

対象国の指標の枠組み

1. 政府予算の2割が教育費
2. 教育費の5割が初等教育
3. 教員給与が一人あたりGDPの3.5倍
4. 生徒教員比率が40:1
5. 通常経費に占める給与以外の割合が33%
6. 留年率が平均10%未満
7. 年間の授業時間が850時間以上

FTI対象国

	現在の対象国 (13 カ国)	2006年に対象国となる可能のある国 (11 カ国)	2007年に対象国となる可能性のある国(13 カ国)	合計
国	Burkina Faso Djibouti Ethiopia Gambia Ghana Guinea Guyana Honduras Kenya Lesotho Madagascar Mauritania Moldova Mozambique Nicaragua Niger Tajikistan Timor Leste Vietnam Yemen	Albania Benin Bhutan Burundi Cambodia Cameroon Mali Mongolia Rwanda Sao Tome Senegal	Angola Bangladesh Chad Congo (DRC) Congo, Republic Georgia Guinea-Bissau Haiti Kiribati Kyrgyz Rep. Sierra Leone Solomon Islands Vanuatu Zambia	37カ国
未就学児童数 (万人)	1640	390	980	3010
2006-2008の間の年間の不足額 (米億ドル)	6.2	3.0	4.5	13.70

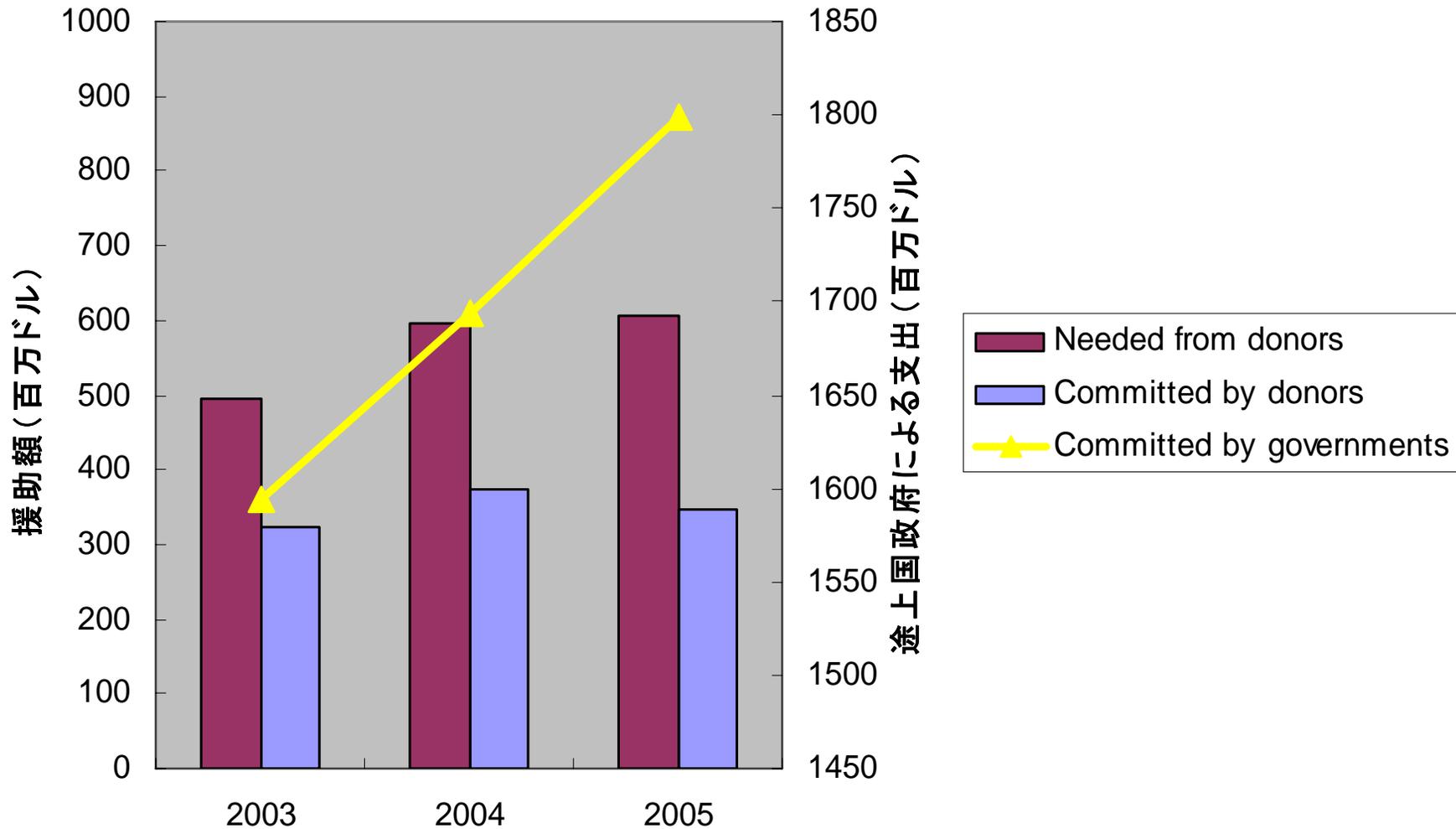
これまでの成果

- 世界レベルで入学率が83% (2000) から95% (2002) に増加。(その前は10年で10%増加)
- 最初の対象国12カ国の援助額が2004年に3億ドルから3億5000万ドルに17%増加。
- モザンビーク、ニジェール、イエメンでは教育予算比率が5年間で4~5%増加。
- モーリタニア、ニジェール、ベトナムでは3年間で留年率が2~3%減少。
- ガーナでは2005年に学費無償化により就学率が14%上昇。

Fast Track Initiativeの課題

- 運用面
 - ドナー国の援助額が約束より不足
- 制度面は大幅に改善された
 - 指標の現地化→教員の待遇
 - 非対象国への支援:紛争後国、能力不足の国が対象になれない→教育計画開発基金
 - 他のEFA目標:男女格差、成人識字、質が軽視→セクターワイドな計画
 - ガバナンス→FTIの運営委員会にCSO代表
 - 対象国になるのに時間がかかる

FTI対象国12カ国の途上国政府の努力と先進国の無関心



FTIについての日本の課題

1. 基礎教育援助額が少ない
 - 日本はFTI対象国のうち19カ国を支援
 - 3340万ドル(2003年)を支援→9380万ドルの支援が必要
2. 触媒基金、EPDFへの支援をしていない
2. モダリティーの制約: セクター財政支援の制度化
3. 技術協力による質の改善の強化

EFA関連のフラッグシップ・プログラム

事業名	主導・調整機関／実施期間	対応するEFA目標
乳幼児発達能力強化イニシアチブ	UNICEF／実施中	目標 1
持続可能な開発のための教育の10年 (DESD)	UNESCO、2005年～2014年	目標 3、6
国連女子教育イニシアチブ (UNGEI)	UNICEF／実施中	目標 5
緊急危機状況における教育イニシアチブ	UNICEF, UNESCO, UNHCR, CARE などの NGO／実施中	目標 2 と 3
効果的學校保健イニシアチブ (FRESH)	UNESCO, UNICEF, WHO, 世界銀行、Education International／実施中	目標 3 と 6
教育に対するHIV/AIDSの影響	UNESCO／実施中	目標 3 と
EFAと障害者の権利：統合に向けて	UNESCO／計画中	目標 2 と
国連識字の10年	UNESCO／2003年～	目標 4
教員と教育の質	UNESCO、ILO、UNICEF	目標 6
	Education International／実施中	
農村人口のための教育	FAO／2002に開始	目標 2 と 6

途上国にとってのDESD

1. ミニプログラム→EFAへの貢献が軽視されてはいけない
2. 教育セクター開発計画にリンク
3. 学校教育におけるライフスキル教育
4. 成人教育、ノンフォーマル教育の重視